

index

2025〈第37号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 自民党兵庫県連各種友好団体との
政策要望に係る意見交換会
- 議員対談 衆議院議員 山口 壮氏
- OTC類似薬および医療機関の
苦しい経営状況について
- 郡市医師連盟だより(宝塚市医師連盟)

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-265-2328

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 橋本 寛



医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 橋本 寛

「政策は力が作る」

この度、兵庫県医師連盟委員長を拝命いたしました橋本寛です。

新たな連立政権が発足し政治状況が不安定な中、医療機関の経営は日ごとに厳しさを増しており、その対策には一刻の猶予も許されません。まず、皆様にも許されません。まず、皆様に申し上げなければならないのは「政策は正しさではなく力が作る」という現実です。この7月

に行われた参議院選挙では日本医師連盟のかまやち候補が当選いたしました。目標の30万票には届かない17万票余りで、前回の自見はな候補の得票数を下回りました(兵庫県は微増)。

これに対して特定郵便局の候補は48万票余り、建設業団体候補は約22万票、「コメ」問題で注目された農協候補は約19万票と日医連候補の票数を上回りその存在感を示しております。今後も我々が求める政策の実現には力が、つまり政治力が不可欠です。財源を無視し国民の負担を減らすという人気取り政策が現場の疲弊をさらに悪化させないように皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

自民党兵庫県連

各種友好団体との

政策要望に係る意見交換会

令和7年9月3日(水)午後4時30分から県庁3号館6階の自民党県議団フロアにおいて意見交換会が開催された。兵庫県医師連盟から八田昌樹委員長、三浦副委員長、片山常任執行委員、平林常任執行委員が出席、北野実自民党健康福祉部会長、

八田昌樹兵庫県医師連盟委員長の挨拶の後、令和8年度兵庫県予算編成に対する最重要事項について片山常任執行委員より説明し、実現に向け強く要請した。同党からは、健康福祉部会長の前井真貴(六甲市)並びに

石川憲幸(丹波市)・山本敏信(高砂市)・藤本百男(加東市)・谷口俊介(西区)・村岡真夕子(三木市)の6名の県議会議員の出席があった。

最重要政策事項

RSウイルス母子免疫ワクチン
(アブリスボ®筋注用) 公費補助について

補助について

RSウイルスは世界中に分布する呼吸器感染ウイルスです。乳幼児では、1歳までに約50%、2歳までにほぼ100%の乳児が感染すると言われる感染力の強いウイルスです。日本では毎年12~14万人の乳幼児が罹患し、その1/4(約3万人)が入院を必要とすると言われています。特に生後1~2か月の乳児では重篤化しやすく、無呼吸や脳症など命に係わる合併症もしばしばみられます。兵庫県でも昨シーズンは人工呼吸管理だけでなくECMO(体外循環による血液の酸素化)を行った症例がありました。後遺症としての反復性喘鳴も重要です。RS感染症に対する特異的な抗ウイルス療法は存在せず、対症療法を行うしかありません。予防法としては、RSウイルスに対するモノクローナル抗体製剤(パリスズマブ、ニルセビマブ)を投与するという方法が使われてきました。しかし、この製剤は低出生体重児、早期産児、先天性心疾患を持つ児など



左より 片山常任執行委員、平林常任執行委員、八田前委員長、三浦副委員長

このデータをもとに、妊娠28週~36週あるいは32週~36週での接種を推奨している国や地域が複数あります。

ワクチンの安全性については、承認前に行われた国際共同第3相試験において、ワクチン投与群はプラセボ群に比べ早期産の可能性がやや高い傾向はあるものの、統計的有意差は認められておらず、調査後の解析ではワクチン投与のみが早産の直接的原因ではないとされています。疼痛や発熱が41例、神経障害が2例報告されていますが、他に重篤な有害事象は報告されておらず、十分に安全性の高いワクチンだと言えます。

現在、RSウイルスは流行時期を推測・特定できない、年間を通していつでも流行する可能性を持ったものとなっております。それに対するワクチン接種も、時期を特定せず一年中いつでも

母体に抗RSウイルス抗体を作らせ、それを経胎盤的に移行抗体として胎児に与えることで、乳児に免疫を付与するワクチン(アブリスボ®)が開発され、承認・販売されました。接種価格は3~4万円です。妊娠28週~32週の妊婦に、出産の2週間以上前に投与することで、生後6か月までの乳児のRSウイルスによる重症下気道感染症は88・5%減少し、32週~36週では76・5%減少したと報告されています。



片山常任執行委員



八田前委員長

接種可能なものとして設定する必要があります。ワクチン接種から体内で十分な量の抗体が産生されるまで最低2週間かかることとされています。接種後2週間以内に早期産で出生した児に対しては、やはりモノクローナル抗体製剤の投与が必要となります。また出生後早期の風邪症状に対しては、ワクチン接種の有無が診断上の重要情報となるため、母子健康手帳にRSウイルスワクチンの接種を記録する必要があります。RSウイルスワクチンは、すべての乳児を出生の瞬間から守ることができる重要な予防手段です。このワクチンの接種を進めるため、兵庫県として傘下の市町に対する補助を行ってくださるようお願いいたします。なお、百日咳が蔓延している現在、RSウイルスワクチンと同時に3種混合ワクチン(DPT)を接種することも、母体と胎児・乳児を守るために大切な処置です。こちらについても補助と勧奨をご検討いただければ幸いです。

兵庫県医師連盟プロジェクト委員
相生市医師連盟委員長

山口 壮

西川 梅雄

衆議院議員 (兵庫県第12区)

TSUYOSHI YAMAGUCHI

UMEIO NISHIKAWA

【参加者】
兵庫県医師連盟執行委員 佐用郡医師連盟委員長
尾崎 公彦

KIMHIKO OSAKI

西川 本日は大変お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。山口先生には7年前私と対談させて頂きましたが、今回は兵庫県医師連盟執行委員の尾崎公彦先生にもご参加頂きました。宜しくお願い致します。

尾崎理事 (以下尾崎) 山口先生とは同じ淳心学院高校の6年後輩です。よろしくお願ひします。

山口壮議員 (以下山口) どうか宜しくお願い致します。

西川 まず山口壮先生のご略歴です。前回令和元年8月の対談にも掲載されましたが、簡単に紹介をお願いします。

山口 生まれは相生市で、実家は相生湾のすぐそばにあり、相生小学校の先生から「相生湾は七つの海(世界)につながっている」と言われたのがのちに外交官になる原点です。その後淳心学院中学校の時、日米の高中生でキャンプをして国境を越えた心と心の交流を体験し、外交官を目指すようになりました。

西川 確か高校2年の時、歯科医である御父上に相談したら、あとで後悔しないように自分のやりたいことをやれと言われ、東大法学部へ入られたとか。

山口 そして、大学卒業後外務省勤務。外交官になって米国、中国、英国などの大使館勤務。また米国ジョンス・ホプキンス大学で修士号と博士号を取得しました。

尾崎 中国や英国では一等書記官をされていたのに、なぜ政治家になられたのですか？

山口 外務省に入省すると政治家が大変威張っており、役人がしっかりしていても政治家がだめなら意味がない、国の方向を

決めるのは政治家であることに気付いたことが最大の理由です。ロンドン勤務の際に某大物政治家から誘われて衆議院議員に出馬しました。

西川 衆議院議員に当選されて8期目ですが、主な政治活動やご経験についてお願いします。

山口 そうですね、色々やりましたよ。特に2016年に部落差別解消推進法を二階俊博先生に頼まれて議員立法として成立させました。これは結構難しい仕事でした。

それから岸田内閣の時に環境大臣(2021年〜2022年、第29代、30代環境大臣)をさせて頂きました。

尾崎 その時に結構多くの仕事をされていたよね。

山口 ええ沢山やりましたね。代表的なのはCOP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議、The 26th session of the Conference of the Parties to the United Nations Framework Convention on Climate Change)で、気候温暖化防止の合意をまとめられたことです。英国グラスゴーで2021年に開催されました。

尾崎 日本からは岸田首相と山口環境大臣はじめ外務省、環境省、経済産業省を含む10省庁2



鼎談(ていだん)開始。写真中央に山口壮議員、左に尾崎公彦先生

5名が出席して交渉に参加したとのこと。山口先生は英語が堪能なので通訳を介さず、直接話をして実務上の交渉を全てまとめ上げてしまったとか。

山口 ありがとうございます。実はそうなんです。直接相手国の方と話ができるということ、通訳を介する時間が省ける、30分なら通訳を介すると正味15分になってしまう。いいリズムで会話を運べる。微妙な誤訳を防ぐ、相手の本音(心が読める?)も分かる等の利点が沢山あります。

西川 なるほど通訳なしで話をするってすごい大切ですね。それと今年4月から山口先生は「対日投資拡大議員連盟」の会長として政府の方針にも大きな影響を与えられました。

山口 そうなんです。その大事さはトランプ大統領はよく理解しているから、日本からの対米80兆の投資にこだわった。対米80兆の投資をするということは「双方向」ですから、対日投資の拡大にもつながります。経済が良くなれば、少子化の解決を通じて年金、医療、介護や子育ての仕組みも強化していくことができます。

地元的には中小企業基盤整備機構とコラボして、中小企業活性化のセミナーを11月に相生市と栗東市でやります。創業支援や第二創業(事業継承後に行う経営革新)支援を行います。お金のバラマキではなく、厳格な基準で厳密に審査し、良いプロジェクトであれば補助金を出す。しかも負担を3分の1以下に少なくするのです。

西川 地方の経済が活性化することは大変大事なことです。ところで先日の参議院議員選挙の結果についてどう思います。

山口 自民党が将来に向けて、経済発展の具体的な道筋を示せていなかったのが一番の敗因ではないかと

思います。

西川 「日本ファースト」を掲げた某党なんかはキャッチコピーが美味いと思いました。……。

山口 ただアメリカファーストは成り立ちますが、アメリカのように完結した経済システムの無い日本の場合、日本ファーストは成り立たないのです。閉じるのではなく「開いて」日本への海外からの投資を進めるべきです。日本が良くなる決め手はやはり対日投資拡大です。兵庫県内でもそれが経済活性化に大いにつながります。

それと今回の参院選、兵庫県選挙区では自民党公認議員が維新に勝って当選しました。医師連盟の方々には大変お世話になりました。ありがとうございます。

尾崎 具体的にどうですかね、病院や介護関係の施設が潰れているんです。ご存じだと思いますが例えば伊丹市のK中央病院。これは某共済組合立て市立病院と統合されるまで現在の診療を継続できなくなって、来年3月末に診療休止する(閉院)というんです。

(三面へつづく)



右が筆者

西川・尾崎 今回は私ら(医師連盟)がずいぶん頑張ったんですよ。西播磨は票田としては小さいですけど(笑)。

山口 ありがとうございます。

西川 それと例えばですが、本来自民党保守系がやらねばならないことをやろうともしないので、保守の部分に絞った政策を打ち上げた政党に票を奪われたような気がします。

山口 そうかもしれない。しかし全体的には今回の参院選については経済戦略を具体的に示せていなかったのが最大の敗因です。

西川 この辺で医療関係の話にします。今医療・介護業界では、物価高騰、最低賃金上昇、医師など医療・介護関係者の地域偏在があって、さらに働き方改革が追い打ちをかけて大変なことになっています。すなわち医療・介護崩壊が始まっています。

尾崎 具体的にはですね、病院や介護関係の施設が潰れているんです。ご存じだと思いますが例えば伊丹市のK中央病院。これは某共済組合立て市立病院と統合されるまで現在の診療を継続できなくなって、来年3月末に診療休止する(閉院)というんです。



熱弁する山口壮衆議院議員

(二面より)
原因はいろいろあるけど新病院の建築費用が高騰して2度にわたり入札不調で建て替え時期が何年も伸びてしまったということが主な原因ですね。診療休止とか閉院とか言っているのが事実上経営破綻です。

西川 西播磨地区でも私立病院で100床規模の規模ですが、後継医師の不在などの理由で閉院したところがあります。病院だけでなく診療所も閉院に追い込まれています。経営が苦しくなっており、後継者がいないという理由が多いように思えます。

それと私どもの病院ではコロナ禍で入院患者だけでなく医師と看護師が減ったので1病棟(約50床)休床したのですが、コロナ禍が収束しても病棟再開できないのです。

山口 その休床した病棟を元に戻せない理由をちょっと詳しく教えてください。

西川 まず患者さんが戻ってこないことが一番ですが、医師だ

けでなく看護師を募集しても集まらないのです。医師を含む医療関係者(有資格者)の偏在がひどいのです。

尾崎 そうですね田舎には看護師いせんね。それと職業斡旋事業所(医師・看護師などを紹介する事業所)がちょっとひどいところがありますね。例えば看護師を紹介しても数か月で辞める。高額の手数料(紹介料)だけはしっかりとって、仕事が軌道に乗る前に転勤させるような感じですね。

西川 そういえば当院で紹介業者から入職した職員が半年も経たないのに、その業者から他の病院を紹介するようなメールが来たと言っていました。

山口 問題ありますね。

西川 それと病院建て替え問題。市民から巨額の寄付(約250億)があったというT市では350床規模の病院を建て替えるのに、概算事業費約400億という。

そうすると少なくとも一億ド当たり一億円かかるというこ

とです。これを何年で返済できるのかという問題になります。おそらく今の診療報酬1点10円では採算が全くとれないでしょう。また人件費や材料費の高騰によってさらに建て替え費用が上がることも考えられる。せめて診療報酬1点12円ぐらいにしなければ経営が成り立ちません。ちなみに相生市の令和6年度当初予算案が268億円です。

尾崎 今後は病院を建てるのは個人では無理ですね。公設民営化しかない。すなわち公(おおよけ)が建物を建てて設備を整えて、民間が経営するしかないのです。

山口 なるほど。建て替えるとしたら現状ではそれしかないですね。

西川 ただそれに手を挙げる医療機関があるのが問題です。医療は医療法第7条第6項に「営利を目的として病院、診療所または助産所を開設しようとする者に対して…許可を与えないことができる」というのがあって利潤を追求できない。他にも医療法第54条には「医療法人は余剰金の配当をしてはならない」というのもあります。

山口 そうなんです。しかし公立病院が儲からないから潰すというのはちょっとオカシイと思いますよ。

西川 そうなんです。公立病院はわれわれ民間病院と違って背負って立つものが違うと思うのです。是非山口先生、国とかど

こからでもよいのでぜひ先立つものにお金をとってきて下さい。

山口 頑張ります。

尾崎 次にオンライン診療の話させてください。

西川 どうぞ。

尾崎 オンライン診療は、離島や災害時や所謂へき地にお住まいの方の診療には大変役立つと思います。しかし慢性疾患などで日頃見ている患者さんが別の疾患で初診ならともかくですが、全くの初診の患者さんはちょっと診療しにくいような気がします。

西川 そうやね。何回か過去に診ている患者さんなら便利ですね。

尾崎 循環器など専門性の高い診療科の先生が例えば大学から相生まで来るのは大変ですが、患者さんは相生の病院の外来まで来てもらって、テレビカメラで双方向に話をすれば、かなり質の良い診療ができると思うのですが…。

山口 それは現行の制度でもい

けるでしょう。

西川 それがあまり普及してないのです。産休や育休をとっている先生でも自宅からでも2、3時間くらいならオンライン診療が可能だと思うのですが…。

山口 実臨床では直接患者さんを直接診ることが最も大切だと思いますが、患者さんと医師とへき地医療機関がもうちょっと連携が良くなって、適切なオンライン診療が普及したらいいですね。

尾崎 それとね。コロナやインフルエンザが流行って検査キットが欠乏したりすると、症状を聴いて処方するだけでも良いのではないかと思います。がその場合詐病による事実上の無診察投薬みたいなことにもなりかねない。

山口 そのへんは注意しないとイケませんね。

西川 最後に山口先生が総理大臣が大統領みたいな人になった場合、何をやりますか？以前の座談会でも聞いたんですけど。

山口 少なくとも2つやりま



尾崎公彦先生

す。一つは経済を再び一流にするということです。

もう一つは世界平和です。後者については私なりのウィジョンもあります。今は具体的なことが必ずしも言えませんがかなりやりやります。

西川 そうそうですね。作戦をべらべらしゃべったら情報筒抜けで、成功する案件もダメになってしまいます。

山口 経済の方はすでに述べましたが対日投資を拡大します。そしてそれらをイノベーションに結び付けるのです。単にお金をばらまくのではなくイノベーションに結び付けて経済を一流にするわけです。それと地方の活性化が大事です。

尾崎 地方の活性化、是非・是非お願いしたいですね。

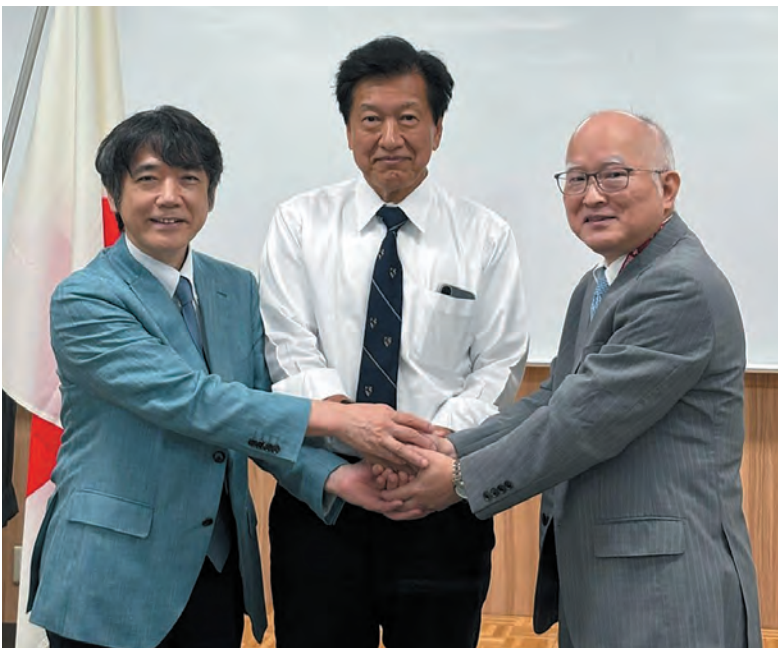
(山口議員はこの後赤穂市での仕事をこなして最終の新幹線で東京へ向かわれました)

西川 今回は紙面に書けないようなきわどい発言もかなり出ましたが、忌憚(きたん)のない意見を出し合うことができたと思います。地方と日本全体の経済をよくして、医療にも十分手当をして頂ければ幸いです。

本日はありがとうございました。

尾崎 お忙しい中ありがとうございました。山口先生を今後も応援しますのでよろしくお願いします。

山口 今日は大変貴重なご意見・情報を伺うことができました。本当にありがとうございました。



対談終了後 左から尾崎先生、山口議員、筆者

OTC類似薬および医療機関の 苦しい経営状況について

兵庫県医師連盟では、9月22日付けで兵庫県選出国會議員に対し、次のとおり通知文を发出了した。

平素は、本連盟活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

先般の参議院議員選挙等では、社会保障費を削るような強い主張が一部の政党からありましたが、健全な日本社会を次の世代に渡していくためには、「今だけ良かったらよい」というポピュリズムと一線を画すべきで、社会保障の重要性を改めてご理解いただき、国会や地域社会、家族が崩壊しないよう努力し、永年にわたり積み上げてきた国民皆保険を堅持していくことが重要と考えております。

わが国の社会保障については、これまで日本医師会が「税金による公助」「保険料による共助」「患者の自己負担による自助」の三つのバランスを取りながら進めて、自己負担のみ上げないこと、併せて、低所得者・弱者への配慮が重要であると繰り返し主張しております。

消費税をはじめ、税収は上振れており、また賃上げによる収入は増え、協会けんぽ等の保険料収入も税収同様上振れています。現行の保険料水準のま

までも、現役世代に新たな負担を求めることなく十分対応が可能であり、公助・共助の財源は増加しているため、患者のみに大きな負担を求めるのではなく、広く薄く医療費財源を求める視点が必要です。

つきましては、大変ご多忙のところ恐縮ではございますが、下記2点につきご高配願いますとともに、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本件につきましてご質問等ございましたら、事務局までお申しつけください。

1. 自民党、公明党、維新の会

の三党協議において、いわゆるOTC類似薬が議論の俎上に上がっており、私も強く懸念しています。

具体的には、
1) 患者自己負担の経済的増加、2) 医療機関が患者の服薬内容を把握できない、3) 医療機関への受診遅延による健康被害、4) 薬の濫用や不適切使用等があり、国民皆保険を揺るがしかねませ

ん。

2. 診療報酬改定は2年に一度ですが、令和7年度最低賃金はプラス5・97%、人事院勧告はプラス3・62%、また「骨太の方針2025」でも示された2025年春季労使交渉の平均賃上げ率5・26%等となっております。医療は公定価格で運営されており、医療機関等は、とてもこれらに対応できるような状態ではありません。著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期の適切な機動的対応が必要であり、さらに、診療報酬で安定的に財源を確保しなければなりません。令和8年度診療報酬改定の前に期中改定も求められている状況であり、補助金と診療報酬両面からの対応が必要だと考えております。

郡市医師連盟だより

【宝塚市医師連盟】

当宝塚市医師連盟において、会員267名に対して、国

政選挙や各種自治体選挙の際に、支持候補への応援をお願いするに、医師会総会後の懇親会の席に、市長を始め、国會議員、県會議員、市會議員の先生方をお招きし、意見交換するともに会員との交流を図らせていただいております。

先日の参議院議員選挙におきまして、「前回の選挙における与党議員への投票率が低すぎる。宝塚市の医師連盟は反与党（実際にはもっときつい表現でしたが）なんじゃないか!!」との、厳しい他市の先生方のお声も上がる中、会員の皆様に釜淵先生への応援をお願いし、何とか前回を上回る得票数を得ることができました。

諸物価高騰や人件費上昇圧力の中、当市の医療施設においても経営に関する窮状を訴えられる会員の先生も少なからずおられ、高市早苗首相誕生の際に掲げられた積極的財政出動に期待する声も多く聞かれました。しかしながら、社会保障費削減を政策目標に掲げる日本維新の会

が与党に参画する事態となり、今後の医療をはじめとする社会保障政策の動きには予断を許しません。

当連盟といたしましては、このたび衆議院厚生労働委員長に就任されたおとなりの伊丹市出身である大串正樹衆議院議員との対話に加えて、自見はな子参議院議員、釜淵さとし参議院議員をはじめとする議員の先生方のお力添えをいただき、日本国民にとって安心安全な医療が守られるよう、行政をはじめとす

る各方面に働きかけていく所存です。

また、引き続き与野党を問わず各政党の議員の先生方との幅広い親睦を図り、医療政策をはじめとする意見交換を通じて、国民の健康・公衆衛生の発展に貢献していきたいと考えております。

宝塚市医師連盟

委員長 明渡 寛



前列左より 妙中氏、明渡委員長、釜淵現参議院議員、林崎副委員長
後列左より 合田会計責任者、成山会計責任者、篠部副委員長

兵庫県医師連盟ホームページ

医師連盟の主張や意見の広場、郡市区医師連盟の活動などを掲載し、随時内容を更新しています。

兵庫県医師連盟

検索

<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>